



山形大学校友会
Yamagata University Alumni Association

18
OCTOBER 2021

校友会会報



令和3年度山形大学校友会
学生幹事委嘱状交付式を
行いました。

Contents

校友会 NEWS 2

- 就職カイドンスで「就活応援セット」を配付
- 「大学生と高校生との協働活動」を実施
- 「卒業生が薦める！
山形大学生に読んでほしい本30選！」
- 障がい学生に特化したキャリア支援事業

TOPICS 4

INFORMATION 8



校友会キャラクター ぎんなちゃん

校友会とは…

校友会は、山形大学の発展に寄与するため、学生の学業及び課外活動等への助成並びに全学的なキャンパス間の交流活動に支援を行うとともに、会員相互の親交を図り、「山形大学コミュニティ」の醸成・強化に資することを目的としております。

| 校友会 | NEWS |

1 就職ガイダンスで「就活応援セット」を配付



就職ガイダンスの様子

学生の就職活動を応援することを目的とし、小白川キャンパス合同企業説明会（全キャンパス学生対象）参加の学生に対して、就職活動において必需品となる文房具バインダーと、合同企業説明会への参加時に会場内において短時間で食事を摂ることができる軽食セットを「就活応援セット」として提供することを予定していました。

しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、対面で3月上旬に実施を予定していた合同企業説明会は、オンラインでの実施となり、合同企業説明会の会場で学生に就活応援セットを手渡しし、激励する機会がなくなってしまいました。

そこで、令和2年度、対面で実施する唯一の大規模ガイダンスとなった【就職ガイダンス】（12月24日（木）実施）において「就活応援セット」の内容を、コロナ禍での就職活動に役立つ、マスク・除菌ジェル・携帯用エチケットブラシ等の感染防止用品に変更して校友会の支援であることを伝えながら参加学生に配付しました。（200セット準備）

また、できるだけ多くの学生に配付するために、年度内に実施した小規模の就職支援講座に参加した学生やキャリアサポートセンター内で実施している個別の就職相談に訪れた学生にも配付しました。

学生からは「これからの就職活動で使う物なので嬉しい」、「コロナ禍での就職活動が不安だったが、応援してもらっていると実感して勇気が出た。コロナに負けずに頑張りたい」との声があり、ニーズに即した支援となり非常に好評でした。

小白川キャンパス事務部
学務課学生支援担当（就職）



就活応援セットを感染防止用品に

2 「大学生と高校生との協働活動」を実施



山大学生にインタビューする地元高校生

「大学生と高校生との協働活動」では、県内の高校生と山大学生が山形県の人口問題について若者の視点から解決策を考えました。

この活動は地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）の一環として平成28年度より山形大学COC+推進室と山形県教育委員会が連携して主催し、平成30年度からは山形大学校友会の支援を受けて実施しています。COC+は地方が抱える諸問題の解決にむけて官民学が一体となり取り組む事業です。地方では若者の多くが進学や就職を機に首都圏へ流出しており、少子高齢化が悪化する原因となっています。そこで、今回の活動では、地域の現状を理解し今後の問題について考えるなかで山形や出身地の将来を担う意識を高めてくれることを目的としました。さらに、地元高校生が山大学生と交流することで県内大学を身近に感じ、進学するきっかけとなることも期待しました。

令和2年度の活動は鶴岡・米沢・小白川キャンパスの3会場で実施し、庄内・村山・置賜地域の高校生と学部3～4年生が参加しました（下記参照）。高校生は興味をもった大学生に対して数名でインタビューを行い、大学生から見た山形県の課題と解決策、山形大学の学生生活の実態などを聞き取りました。その後、高校生は自身の考えと大学生の意見を併せて地域の問題点と解決方法をまとめました。

活動を終えた高校生から「地域課題について自分にはない視点から学べ、とても興味深かった」「自分たちの知らないことがたくさんあり、大いに役立った」「山形大学に入学したい気持ちが強くなった」などの感想が寄せられました。

【令和2年度の参加者数】

（コロナ関連の欠席があり、当日に減少）

鶴岡キャンパス：高校生15名（希望者16名）・大学生4名
小白川キャンパス：高校生52名（希望者88名）・大学生10名
米沢キャンパス：高校生39名（希望者40名）・大学生10名

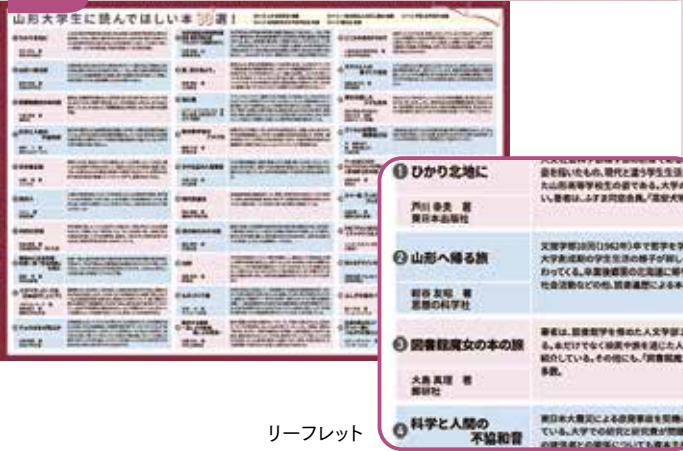
学術研究院地域教育文化学部
准教授 滝澤 匡



山大学生にインタビューする地元高校生

令和2年度に実施した事業の中から、特徴ある4つの事業を紹介します。

3 「卒業生が薦める!山形大学生に読んでほしい本30選!」



リーフレット

卒業生と大学・学生との連携推進事業として「卒業生が薦める!山形大学生に読んでほしい本30選!」を実施しました。

この事業では、卒業生の後輩学生を想う気持ちに感謝しつつ、それを活かし、学生の教養を高めることを目的に、各学部同窓会から現役山大学生に読んでもらいたい本をメッセージとともに推薦していただきました。推薦いただいた本は、小白川図書館に配架されており、多くの山大学生が利用しています。

※リーフレット(PDF)は、校友会のホームページからダウンロードしてご覧いただけます。

<https://www.yamagata-u.ac.jp/ykouyu/>

・卒業生のひろば

「山大学生に読んでほしい本30選」

校友会事務局



小白川図書館の卒業生推薦図書

4 障がい学生に特化したキャリア支援事業



就活準備講座の様子

山形大学障がい学生支援センターでは、平成29年度より「障がい学生に特化したキャリア支援」を実施しています。令和2年度は、コロナ禍となったため、すべてオンライン形式で実施しました。その内容をご紹介します。

①多様な学生のための自己理解セミナー(2021.2.8)

自身の抱える困難さやその要因となる特性を多面的に理解し、自身に適したセルフケアについて学ぶ「自己理解セミナー」を、キャリアサポートセンターとの共催で実施しました。長年健康行動科学の知見を基に、ストレスマネジメントの教育等に従事してこられた筑波大学名誉教授の宗像恒次先生にご講演いただきました。

まずは自分の気質・特性を理解し、どういったストレスを感じやすいか、その機序も含めて説明がありました。加えて、特性に応じたセルフケア行動をご紹介いただきました。本セミナーを通して、自分と上手につきあうための対処法について学んでくれたと思います。

②発達障がい学生を対象とした就活準備講座(2021.2.15,16)

発達障がいの特性のある学生たちは、就活の見通しが持てず不安を抱えています。

そこで、発達障がいに特化して就労移行支援を行う「株式会社Kaizen」に講師を依頼し、発達障がい学生を対象とした就活準備講座を毎年開催しています。

講座では、架空の業務を行うなど職業体験をとおして、どういった作業が得意・苦手なのか、苦手さを補うためにはどう工夫し、配慮を依頼するとよいか等、就活に向けた自己理解と説明力を高めるプログラムを実施しました。

この事業により、障がい学生は自己や障がいについて理解を深め、キャリア意識の形成や就活に前向きに取り組み、実際に就職につながっているケースもみられています。

今後も、キャリアサポートセンターとの連携をさらに強化し、障がい学生それぞれのニーズに応じた支援を実施していきます。

障がい学生支援センター担当



オンラインでの発達障がい学生向け就活準備講座の様子

令和3年度 山形大学校友会学生幹事委嘱状交付式を行いました



一人ひとりに委嘱状を交付

令和3年5月20日(木)、法人本部第二会議室において、令和3年度山形大学校友会学生幹事委嘱状交付式を感染対策を徹底して行いました。

今年度の学生幹事は各学部から推薦された12名で、交付式には6名が出席しました(うち1名はオンライン参加)。

冒頭、玉手英利会長(学長)から、「本来、おもしろいものを見つけるのが大学。今はそれができないマズイ状況にありますが、学生幹事の皆さんには、自由な発想で**多少はずれても良いので**おもしろい大学にしていきたい。」と期待が述べられました。

その後、一人ひとりの学生幹事に玉手会長から委嘱状が交付され、樋口校友会事務局長から、校友会の概要説明と学生幹事の活動についてプレゼンがありました。

出席した学生幹事からは、早くも今年度の活動についての提案がでるなど、「多少はずれる、くらしいの勢いを感じる交付式となりました。

令和3年10月末まで、4回のミーティングを開催し、「新入生サポート」、「Zoom交流会」、「バスツアー」等の企画を検討しています。

学生幹事がメッセージボードを作成



鶴岡キャンパス

今年度も校友会学生幹事が、メッセージボードを作成しました。

タイトルは、「あたらしい『山大生活』をはじめよう」。感染予防対策や授業再開への想いを込めて、各キャンパスに設置しました。

メッセージボード

令和3年6月15日(火) 第31回山形大学校友会理事会を開催しました

今回は、玉手会長が就任して初めての対面開催で、Zoom参加の6名も含め理事・監事18名が出席しました。冒頭、玉手会長(学長)が、「コロナ禍の中、会員の交流は危機的状況にあるが、なんとか山形大学コミュニティを盛り上げたい」とあいさつし、議事が進行されました。概要は以下のとおりです。



会場の法人本部第一会議室

1. 校友会副会長の選出について

地域教育文化学部同窓会会長の渋谷光夫理事と、農学部教授の堀口健一理事を選出

2. 校友会専門委員会委員の選出について

以下の7理事を選出

- ・渋谷 光夫 理事(地域教育文化学部同窓会)
- ・中島 和夫 理事(理学部後援会)
- ・菅原 幸司 理事(鶴窓会)
- ・矢作 清 理事(山形大学理事(学生支援担当))
- ・本多 薫 理事(人文社会科学部)
- ・鹿戸 将史 理事(医学部)
- ・矢口 敦則 理事(会長推薦)

3. 令和2年度校友会決算事業並びに収支決算報告について

令和2年度の校友会支援事業(大学への支援事業23、校友会主体事業5)の報告と収支決算書を了承

4. 令和3年度校友会事業計画並びに収支予算書について

令和3年度の校友会事業(大学への支援事業21、校友会主体事業7)と収支予算書を了承

山形大学校友会支援事業一覧

令和3年度校友会支援事業として決定した28件の事業名は次のとおり。

校友会が主体的に取り組む事業7件(◆印)を含む。

1. ビーチサッカー大会 in 庄内
2. 障がい学生に特化したキャリア支援
3. オペラの教育機能を活用した《附属校との協働》及び《高大連携事業》の推進
4. 大学間交流協定大学への短期派遣留学生校友会支援事業
5. 博士課程学生研究発表奨励事業
6. 各キャンパス大学祭&新入生歓迎フェスティバルへの支援
7. 公認サークルへの支援
8. 地域の未来を担う公務員志望学生に特化した早期自己開発キャリア支援
9. 学生によるキャリアCaféの運営
10. 英語合宿
11. 校友会推薦図書コーナー「後輩には是非、こんな本を読ませたい!」

12. 山形大学・米沢栄養大学・米沢女子短期大学雪合戦大会
13. 合同企業説明会参加学生への就活応援セット提供と卒業後の校友会支援の周知
14. 「外国人との対話の先に見える世界」発見プログラム
15. 科学で子供たちに笑顔を届け隊
16. 山形大学SDGs始動事業
17. データサイエンススタディセッション(DSSS)
18. 山形県留学生OB日本語発表会&多文化交流コンサート&市民との交流会
19. 同窓生と在学生をつなぐ「山形大学史」資料アーカイブ構築
20. 山大学生による山形大学の魅力発信プロジェクト「TAG(仮)」
21. 「山形美術館キャンパスメンバーズ制度」を活用した就学支援
22. 山形大学校友会大学院学生表彰制度◆
23. 校友会会員となった新入生への入会記念品の贈呈◆
24. 若手卒業生の組織化支援◆
25. 卒業生と大学・学生との連携推進事業◆
26. 校友会「学生幹事」による校友会PRと自主的な活動支援◆
27. 卒業・修了留学生への記念品の贈呈◆
28. 山形大学学生交流プラットフォーム事業◆

(計28件)

5. 令和3年度校友会「学生幹事」の選出について

各学部から推薦のあった12名の学生幹事について報告、了承

6. その他

令和3年度の校友会年間スケジュールについて了承



議事進行する玉手会長

副会長に選出された渋谷理事



初のオンライン開催

「山形大学学生交流プラットフォーム」アンケート結果について

「山形大学学生交流プラットフォーム」アンケート結果についてお知らせいたします。期間は令和3年7月20日(火)から8月27日(金)、回答数は162件となりました。

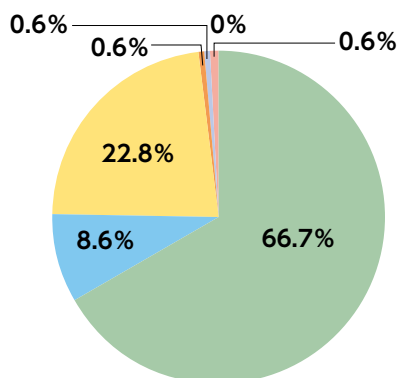
アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。アンケート結果を反映させながら「山形大学学生交流プラットフォーム」を構築して参ります。

〔アンケート趣旨〕

今年度、山形大学校友会は「山形大学学生交流プラットフォーム」を新たに構築することになっています。長引くコロナ禍において、サークル活動をはじめ、学生間の交流が困難な状況になっており、オンラインで交流できる「新たなキャンパス」を校友会の学生幹事と共に創り上げることをイメージしています。具体的には、プラットフォーム内に、学生生活、サークル活動、ボランティア活動、就職支援などのグループ(部屋)を作成し、学生による自由な情報交換や、様々なイベントを企画・実施できる機能を設ける予定です。さらに、現役学生と卒業生、地域の方々との繋がりによって、校友会の目的である「山形大学コミュニティの醸成・強化」に貢献し、会員のQOL(クオリティ・オブ・ライフ)の向上に資することも目的にしています。

「山形大学学生交流プラットフォーム」アンケート結果

Q1. あなたの属性をお教えてください。

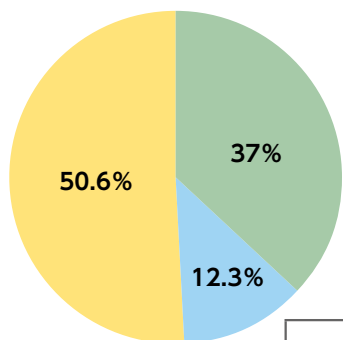


属性	回答	%
山形大学生	108	66.7%
山形大学卒業生・修了生	14	8.6%
山形大学教職員 (OB・OG含む)	37	22.8%
山形大学学生保護者	1	0.6%
企業・自治体・その他団体	1	0.6%
中学生・高校生	0	0.0%
職員	1	0.6%
合計	162	

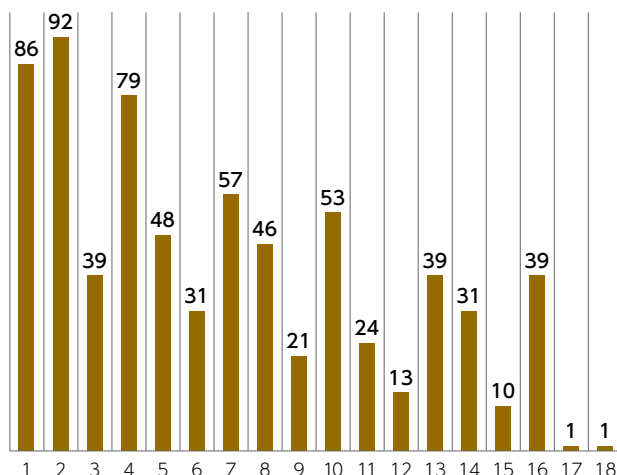
Q5. 「山形大学学生交流プラットフォーム」のwebコンテンツに期待する機能は何でしょうか? 以下の例からお選びください(複数回答可3つ~5つ)。

	機能	回答
1	サークル情報	86
2	授業やゼミ、研究室などの学習情報	92
3	匿名で交流できる場	39
4	就職や公務員試験情報	79
5	卒業生との交流の場	48
6	趣味の世界(サークル以外)	31
7	出逢いの場(未知との遭遇、異分野への挑戦、自分磨き等)	57
8	スキルアップの場(各種試験、語学等)	46
9	娯楽(オンラインゲーム、スポーツ等)	21
10	山形情報(観光地、おいしいもの等)	53
11	イベントの企画や実践のための作戦部屋	24
12	コワーキングスペース(オンラインで起業を目指す作業場)	13
13	ボランティア活動情報	39
14	研究情報	31
15	入試情報	10
16	大学からの連絡	39
17	OB・OGとの交流の場	1
18	保護者の考えや意見交流できる場	1

Q4. あなたは山形大学校友会の会員ですか?



回答	回答	%
はい	60	37.0%
いいえ	20	12.3%
不明	82	50.6%
合計	162	



Q6. 「山形大学学生交流プラットフォーム」についてのご意見やアイデアについてお教えてください。

たくさんのご意見やアイデアをいただきありがとうございます。以下、抜粋してお知らせいたします。

- 匿名と氏名公表との双方の交流の場を設けても良いのではないかと思います。ただし、山形大学学生および教職員、卒業生に限り。また、情報の更新は大変ですが、頻繁に行う方が良いと思います。交流の場の提供にあたっては、いわゆる「荒らし」等の誹謗中傷行為等が無いように見張るシステムも導入できればなお安全と思います。
- ラインやインスタグラム、TikTokなどですでに若い世代が独自のグループを形成している中で、新しいプラットフォームがどれだけ受け入れられるか疑問です。企業情報や趣味・観光情報などは、既存の大手 SNS ですすでに十分な情報が手に入り、コミュニティとしての力や利便性、UI、情報量などで勝れるとは思いません。校友会プラットフォームの独自性をどれだけ持たせられるか、その独自性をどれだけ広められるかがポイントだと感じます。
- 早期のプラットフォーム完成をよろしく願います。
- 仲間がいて、時間がある、学べる環境がある山形大学に在る間に、学生だからこそこできること、自分たちの可能性を信じて、人生における学生という時間を最大限に発揮して、学生生活を過ごしていただきたいと思っています。この学生交流プラットフォームが、現在の学生たちの可能性につながる取り組みになることを期待しています。
- OB・OG ですが、基本的に現役の学生さんがメインユーザーとうかがいましたので、学生さんにとって使いやすく、意味のあることを優先いただければと思います。

- 各キャンパスの学生同士がつながりを保てる場に、そして学外の情報を発信する・受け取れる場になってほしいなと思います。応援しています！
- 学生が主体となって活動いただくプラットフォームと理解しましたが、学生のみなさんがOB・OGとの会話を求めているだけなら、そうした会話や連携の場としても活用できるとよいと思いました。
- コロナ禍により、学生生活において、あらゆる面での制限が強いられています。学生のストレスも計り知れません。このプラットフォームが、その一助となることを期待しています。
- サークルや個人活動の情報（ポスターなど）を気軽に載せられたら良いと思う。
- 開かれた交流サイトの観点から、可能な限り公開を基本とする。プロトタイプが完成した段階で関係者の反応を確認する。運用の初期段階では、例えば各署に活用推進委員（仮）をおき、P.H. の積極的な活用を先導いただく。学長にもご利用いただき第2の H.P. 化を目指す。校友会は啓蒙、指導、見本の立場から内容をソフトコントロールしていく。
- 現在の状況を踏まえた大変前向きなタイムリーで期待できる取り組みだと思います。私の少ない体験の中でも、学生さんは、オンラインでのやり取りに意外と抵抗がないようです。
- プラットフォームを作るにあたり、学生の不安が解消できたり、新たな交流が増えるきっかけとしてシンプルに Yahoo 知恵袋のような Q&A 形式の掲示板のような場を設けてあげるのはいかがでしょうか？

Q7. 山形大学校友会の活動について忌憚のないご意見をお聞かせください。(抜粋)

たくさんのご意見をいただきありがとうございます。以下、抜粋してお知らせいたします。

- もう少し広報活動をしてくださると助かります。活動内容があまりわかりません。
- 学部の壁を越えた卒業生、在校生の交流の場にして欲しいです。
- 山形大学基金も活用して、他大学にはないような学生目線での活動をお願いします。
- 学生幹事さんのアイデアと行動力は素晴らしいものと思います。これからも自分たちの山形大学を学生の視点でより良いものにしてもらい、卒業してからもそれが山形大学の思い出になるような活動をしていってください。校友会を盛り上げていくためには、現役学生の満足度を高めていく

ことが近道だと思っています。

- 山形大学のこうした取り組みは、コロナ禍であればこそ、とても大切だと思います。県外から山形大学を選んで山形へと来てくださった方々が、山形のあたたかさを感じてもらえるような場になればステキだと思います。
- 校友会と各同窓会との連携が深まると、学生のみならず大学、そしてOB・OGにとっても新しい価値を創出できるのではないかと思います。
- 現役学生と同じ目線でという基盤をしっかりとって、学生さんにとっても近い位置で取り組んでおられることがとても良いと思います。同窓生もこれからは、学生さんの友達として入れるように、いろいろな仕掛けをしてください。

令和3年9月24日(金)

「各学部同窓会・後援会、校友会と山形大学との情報交換会」を開催

令和3年9月24日(金)、法人本部第一会議室にて、「各学部同窓会・後援会、校友会と山形大学との情報交換会」を開催しました。

本会は、各学部同窓会・後援会、校友会そして山形大学の連携を密にして現状の共有を図るとともに、各機関における運営上の諸課題や将来像等について意見や情報を交換し、エコシステムを構築しながら持続的な発展を来すための場とすることを目的に3年ぶりに開催されました。

コロナ感染予防のため、21名の出席者のうち11名はオンラインによる参加でしたが、事前の資料配付と画面共有等で遺漏なく会は進行されました。

冒頭、玉手学長(校友会会長)が、昨年来のコロナ対策とそれに対する各学部同窓会等へのご協力に対し感謝の意を表しました。その後、各機関及び山形大学各学部より現況を

報告していただき、特徴的な取り組みや課題等の情報を共有しました。

最後の自由討議では、共通する課題である会員数の減少や、現役学生との繋がりや弱さ、支部活動の活性化等について、活発な意見交換が行われました。



会場の法人本部第一会議室



オンラインの参加者

山形大学校友会 ロゴマーク・キャラクターを 商標登録しました

昨年度決定し、特許庁に願出していた山形大学校友会ロゴマーク・キャラクターがそれぞれ商標登録されました。

キャラクターの名前「ぎんなちゃん」も商標登録されました。

山形大学校友会では商標登録されたロゴマーク・キャラクターを「山形大学コミュニティの醸成強化」のために広く活用してまいります。

山形大学校友会ロゴマーク・キャラクターの使用を希望される場合は、山形大学校友会事務局までご連絡ください。無許可での加工・複製・転載は禁止します。



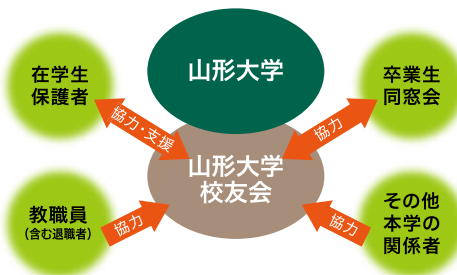
校友会への入会案内

山形大学校友会に未だ加入されていない卒業生の皆さまへ（お願い）

校友会は、学生の修学、課外活動及び就職活動並びに全学的な交流活動の支援を行うと共に、会員相互の親交を図り「山形大学コミュニティ」の醸成や強化に資するために様々な事業を展開しています。具体的な事業は、会報に掲載しているとおりですが、これらの事業は、在学生、卒業生、役員、教職員及び本会趣旨賛同者の生涯会費（1万円）により行われています。

ついては、多くの皆さまにご加入をお願い申し上げます。会員（入学時加入会員除く）の方には、定期的に校友会会報や大学の様々な広報誌を送付しています。

..... 山形大学コミュニティ



入会申込手続き: 払込取扱票に必要事項をご記入の上、『郵便為替』により生涯会費1万円をお振り込みください。(払込取扱票は、校友会事務局にありますので、ご連絡ください。)

入 会 日: 会費の納入により入会となります。

山形大学校友会交流プラットフォーム登録に関するお願い

山形大学卒業生の皆さまへ

「山形大学コミュニティの醸成・強化」を目的とする山形大学校友会は、卒業生の皆さまのQOL (quality of life) の向上に少しでも貢献したいと考え、「交流プラットフォーム」を構築し、各学部同窓会と連携の上、様々な場の提供とサービスの充実を図って参ります。

具体的には、全国各地で活躍する卒業生の皆さまとの異業種交流会やオンライン勉強会、ホームカミングデー、お花見や芋煮会等のイベントの企画、懐かしのキャンパス訪問ツアーや学年別・研究室別・サークル別同窓会のコーディネート等です。

つきましては、上記プラットフォームの充実に欠かせない情報について、是非ご検討いただき、校友会HPよりご登録願います。

ご登録いただいた皆さまには、山形大学オリジナルボールペンを贈呈するとともに、「校友会メールマガジン」で“母校の今”をお知らせするほか、様々な情報をお届けします。

登録させていただいた個人情報は、校友会及び各学部同窓会の活動のみに使用し、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律を遵守して厳正に管理いたします。

編集後記

新型コロナウイルス感染から1年半以上が過ぎ、飲食業界や観光業界をはじめ、関連するすべての業界の方々の厳しい状況が続いています。山形大学でのワクチン集団接種も終了し、新型コロナウイルス感染症に感染しない、させない心がけましょう。

(事務局次長 山口)

山形大学エンrollment・マネジメント部 山形大学校友会事務局

〒990-8560 山形市小白川町1丁目4-12

TEL:023 (628) 4867 FAX:023 (628) 4185

E-mail:yu-kouyu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

〈校友会ホームページ〉 <https://www.yamagata-u.ac.jp/ykouyu/>



校友会HP



Twitter



Facebook



Instagram